

♪ 東秩父村の学校給食 ♪

～ 10月29日（金）の献立 ～

実際の
給食



10月29日の給食は「わかめごはん」[手づくりハンバーグ]「パンプキンスープ」[こんにゃく入りサラダ]の献立です。

10月30日が「食品ロス削減の日」で、現在、日本では食品の廃棄や食べ残しが大きな問題になっています。農林水産省の2018（平成30）年度の推計によると、食べられず捨てられてしまう「食品ロス」の量は、1年間で約612万トン、東京ドーム約5杯分になります。1日1人あたりにすると約130グラムで、お茶碗1杯分のごはんの量になります。

食品ロス削減の一環として、埼玉県で災害用に備蓄されていた「わかめごはん」を使用しました。みなさんも「食品ロス」について考え、食べ物を大切にする気持ちをいつも持って欲しいと思います。

槻川小学校栄養教諭

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

放課後子ども教室を開催

10月15日（金）、小学校校庭において第2回放課後子ども教室「竹とんぼと紙ヒコーキを飛ばして遊ぼう」、11月12日（金）には福島康雄さん（奥沢）所有のサツマイモ畑にて、第3回放課後子ども教室「芋ほり体験をしよう」を開催いたしました。

竹とんぼでは、どうすればより上手に飛ばせるか、子どもたち自身が試行錯誤をしていました。何度もチャレンジしている子どもたちの姿がとても印象的でした。また、紙ヒコーキでは飛ばして遊ぶだけでなく、好きな作品をつかって友達にプレゼントしたり、折り紙を通して「仲間と一緒に楽しむ」といった様子も見ることができました。

また、芋ほり体験では、江原國利さん（奥沢）、保泉文伺さん（坂本）、福島康雄さん（奥沢）3名の講師の方々にご指導いただき、子どもたちが大きく実ったサツマイモを収穫することができました。当日は49名もの児童に加え、PTAの方や、児童の保護者の方にもご参加いた



だき、大賑わいでとても楽しく芋ほり体験ができました。農業の収穫の大変さと喜びを体いっぱいを感じる体験ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230